

医道審議会医師分科会医師臨床研修部会長 様

熊本市民病院の基幹型臨床研修病院指定継続に関する要望書

熊本市民病院は、平成28年4月に発生した「平成28年熊本地震」により病棟の天井や壁の一部崩落など甚大な被害を受けたことから、現在入院医療を大幅に縮小しており、平成31年秋頃の移転先での新病院開設及び平成32年度からの初期臨床研修医の受け入れ再開を目指しています。

同病院は、総合周産期母子医療などの政策医療を担うとともに、基幹型臨床研修病院として、地震前の平成27年度までは、毎年度5名程度の初期臨床研修医を受け入れ、その大半は初期臨床研修修了後も県内で勤務するなど、本県の地域医療の中核的な総合病院として大きな役割を担ってきました。

同病院には、病院再建後においても引き続き、本県の地域医療を支える医師の確保や育成に大きな役割を果たしていただく必要があり、熊本市民病院の基幹型臨床研修病院の指定継続を要望します。

平成30年7月

熊本県知事 蒲島郁夫

